

楽しく学べるアイデア集

いつ・だれと・なんで・どこへゲーム

⇔ EXERCISES I

- ① クラス全員に下記のように細長く切った紙を配り、6つに折らせる。
- ② 各自に、一番左の欄に「(名前)は」と書かせる。(クラスメートなど、だれの名前でもよい)

(点線ごとに裏に折り返す)

例) [行為者]	[時]	[同伴者]	[手段]	[場所]	[動詞]
ミッキーは					

- ③ 各自、紙を折って、後ろの生徒に回し、前の生徒から新たな紙を受け取る。
- ④ 左から二番目の欄に、教師の指示にしたがって、各自の好きな「時の言葉」を記入する。
- ⑤ 記入したら、また紙を折って、後ろの生徒に回し、新たな紙を前の生徒から受け取る。
(受け取ったとき、前の生徒が記入したことは見てはいけない。)
- ⑥ 同様に、「(人)と」、「(手段)で」、「(場所)に」の欄を記入させていく。
- ⑦ 「(場所)に」の欄を記入し終わったら、紙を開かせ、一番右の欄に「いきます」あるいは「いきました」と正しい時制で記入させる。
- ⑧ 各自、自分の受け取った文を読み上げる。

*このゲームのポイントは、一つの文をパートごとに、いろいろな人が担当するため、どんな文ができあがるかわからないところにある。決まりきったことではなく、「ミッキーマウスと」「UFOで」「デパートへ」「いきました」などのように、ナンセンスな文も出てくるので、ゲームとして楽しみながらの練習となる。

*紙を5つに折って、手段の言葉を記入しないようにすれば、最後に書く動詞は「たべます」「べんきょうします」などいろいろ記入でき、より面白い文が産出される。